

2025 年 7 月 10 日

住友電気工業株式会社

新潟県柏崎市向け長時間容量のレドックスフロー電池を 3 年連続受注 ～「脱炭素のまち」実現に向けた取り組みを加速～

住友電気工業株式会社（本社：大阪市中心区、社長：井上 治 以下、「当社」）は、柏崎市が進める再生可能エネルギーの有効活用と普及に向けた事業の一環として、柏崎あい・あーるエナジー株式会社*¹（本社：新潟県柏崎市、代表取締役社長：櫻井 雅浩（柏崎市長）、以下、「柏崎あい・あーるエナジー」）から、レドックスフロー電池（以下「RF 電池」）を受注し、本日安全祈願祭を執り行い、着工いたしました。

安全祈願祭には多くの関係者の方々にご出席をいただき、工事の安全と工事作業者の無事を祈念して神事を行いました。安全を最優先にし、円滑な工事の遂行を心掛けてまいります。



柏崎市は、これまで「石油産業のまち」「原子力産業のまち」として発展し、国のエネルギー政策に大きく貢献してきました。現在は、将来を見据え、「脱炭素のまち」として再生可能エネルギーの活用促進に取り組んでいます。当社は、RF 電池の持つエネルギー貯蔵・供給機能を活かし、持続可能な地域社会の実現を支援しています。

柏崎あい・あーるエナジーから受注した RF 電池設備は、今回で 3 か所目となり、稼働中の設備も含めると 24,000kWh という大容量の蓄電池設備となります。これらは、地域の再生可能エネルギー電源の効率的な活用や電力の安定供給を通じて、エネルギーの地産地消に貢献し、柏崎市が掲げる「脱炭素のまち」を実現する重要なインフラの一つとして、再生可能エネルギー利用促進とエネルギーセキュリティの向上に寄与します。

具体的には、日中など太陽光発電による電力供給が過多となる時間帯には RF 電池に充電し、電力需要が高まる時間帯に放電することで、柏崎市内の再生可能エネルギー利用を最大化し、地域における電力の安定供給に貢献することが期待されています。また、1,000kW×8 時間の大容量バッテリーを活用し、卸電力市場での電力売買と組み合わせることで、コスト削減にも貢献します。

今後も、安全性や難燃性、長寿命、リサイクル・リユース可能で、環境に優しい当社の RF 電池の普及に注力し、エネルギーの地産地消を促進し、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

*1 柏崎あい・あーるエナジー株式会社は、柏崎市および民間会社 8 社が出資するエネルギー供給やエネルギー利用に関するサービスを行う自治体新電力
(<https://kashiwazaki.de-power.co.jp/company/>)

■受注設備概要

設置場所	西山総合グラウンド多目的運動広場（新潟県柏崎市）
納入製品	レドックスフロー電池（1,000 kW×8 時間）
竣工予定日	2026 年春

(ご参考)

■ 竣工済設備

設置場所	柏崎市自然環境浄化センター敷地（新潟県柏崎市）
納入製品	レドックスフロー電池（1,000 kW×8 時間）
竣工日	2024 年 9 月

■ 竣工済設備

設置場所	北条南小学校跡地（新潟県柏崎市）
納入製品	レドックスフロー電池（1,000 kW×8 時間）
竣工日	2025 年 3 月



■ RF 電池 Web サイト

<https://sumitomoelectric.com/jp/products/redox>

■ 住友電工グループ 未来構築マガジン「id」Vol.19

再生可能エネルギーを支える「レドックスフロー電池」が担う使命

<https://sumitomoelectric.com/jp/id/project/v19/01>

以 上